

患者サービス向上委員会は、病院・施設の利用者様にご満足いただける医療・福祉サービスの提供に努めています

看護週間 行事を終えて

5月12日は
看護の日

看護部師長会

< 健康相談：5月9日（月）9時～11時30分実施 >

今年度の健康相談は、16名の参加がありました。外来受診の待つ時間を利用して訪れていただき、中には健康相談だけのために来院された方も居られ、とてもうれしく思いました。

無料での血糖測定、体脂肪、血管年齢を測定し、結果をお見せすることで興味を持っていただくことが出来ました。またウェットティッシュとカットバンのプレゼントも喜んでいただきました。



< 講習会：5月10日（火）17時10分～18時 > テーマ：正しいストレッチを学ぶ

昨年まではふれあいコンサートを行っていましたが、今年度は趣向を変えて日頃の運動不足解消のストレッチ方法と筋トレの必要性を学ぶためにインストラクターをお呼びして実践参加型で行いました。多くの参加があり

コーチ3名の方が明るく元気に指導して下さり、とても楽しい時間が過ごせました。

日頃の運動不足と年齢以上に筋力が衰えている現実を知り、筋トレの必要性を痛感しました。



看護の日にイベントに参加して

3病棟看護主任 坂田 由美

久しぶりに本格的なストレッチを教えていただきました。私事ですが7年前まで筋トレやエアロビクスのためにスポーツジム通いをしていた頃を思い出しました。日常における看護業務の動きとは、全く異なる筋肉にスポットを当ててのストレッチは心身に堪えました。正しいストレッチポイントの冊子を頂いたので、休憩時間に声を掛け合ってスタッフ達と行ってみようと思います。

若く元気なコーチ3名の方のご指導に感謝しております。



協力：CURVES 三原店インストラクター

7つの習慣から学ぶ 研修会に参加して

リハビリ科 花本

4月20日の研修会はジョンソン&ジョンソンの鈴木孝先生による「7つの習慣から学ぶ」でした。

先生は『7つの習慣』の著者であるコヴィー氏の「私たちは物事をあるがままにみているのではない、私たちがあるがままにみている」というフレーズを紹介され、パラダイム転換の重要性について話されました。「人は誰でも、過去の経験や知識を参照して世界を見ているため、自分の正しさを疑わない限り、物の見方は狭くなってしまいます。これはSee（物の見方）→Do（物の見方からくる行動）→Get（行動の結果、得られるもの）の循環が悪いためであり、良い結果を得たいなら出発点であるSeeを変える必要がある。このSeeにあたるものがパラダイムであり、自分の思うような生活を送れていないのであれば自分のパラダイムに問題があることになる。」ということでした。

ではどのようにパラダイム転換すればよいのでしょうか。自分は正しい、相手が間違っているというパラダイムを持ち続けていたら何も変わりません。他人や組織、環境ではなく自分の行動を変えることで結果を引き寄せようとする意識が大切であり、自分の外に原因を求めめるのではなく自分の内に機会を見出すことが必要だと言われていました。

今回の研修会に参加して、無意識的な自分の行動が今までの結果をもたらしているということを知ることができたので、これからは自分の物の見方を少し意識して、仕事でもプライベートでもSee→Do→Getの良い循環が保てるようSeeの部分を柔軟に変えていけたらと思います。

患者サービス向上委員会新委員のご紹介

所属 第2病棟 児玉 史子

このたび新しく患者サービス向上委員になりました第2病棟の児玉です。接遇委員としてまず自身から「清潔な服装・笑顔で挨拶」を心掛けて行こうと思います。

患者様の笑顔のため、満足していただけの接遇に向けて頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

所属 薬剤科 新川 道代

4月より患者サービス向上委員会の一員となりました薬剤科の新川です。

より良い患者サービスが提供出来るよう微力ながら努めてまいります。宜しくお願い致します。

所属 栄養科 東 真帆

日々、患者さんに安心・安全でおいしい食事を提供できるよう、務めています。この度、サービス向上委員会の接遇ポスターを担当することになりました。目標は、ポスターを貼ることにより、接遇活動の効果を上げることです。私としては、接遇課題のポスター作りに力を入れ目標達成に努めたいと思っています。